

看護部研修プログラムの概要

項目	内容
看護師研修基準	看護師研修に関する定義・目的・人員構成・留意点・手順を説明した基準書です。研修を提供する担当者は本基準書を把握した上で、手順に従い研修対象者を指導することにより、当院での研修に関するスタンダードを確立する目的で使用されます。
看護師研修担当者ガイド	看護師研修を実施する上の重要事項や進め方の細かい解説書です。このガイドを熟知した上で研修を対象者に提供することが重要となります。このガイドも研修提供者のスタンダードを確立する目的で使用されます。
看護技術チェックリスト	新入看護師及び在職看護師の両方の方を対象とし、看護技術面でのチェックを行います。自分の看護経験における技術度を知ることができ、自分を客観的に評価し、これからどの部分を習得していくことが、現場での実際の業務に役立つかの判断材料として使用されます。
入職時看護師基礎研修プログラム	入職時に実施される基礎研修プログラムです。病棟の日常業務を行う上で最低限必要な看護技術を習得するのに使用します。一日の流れと当院のマニュアルを参照することにより、業務の標準化を目的としたプログラムです。実施の業務内容がこなせるだけでなく、当院のマニュアルに従い実施できるよう研修指導するために使用されます。
看護師アドバンスト研修プログラム	ベテラン看護師や基礎研修を終えた看護師を対象に実施される研修プログラムです。総括された看護技術及び看護管理内容の研修に使用されます。
看護師研修報告書	入職時看護師基礎研修プログラムや看護師アドバンスト研修プログラムを実施中に必要と思われる場合に使用します。研修の項目やその項目の達成目標を明確化し研修を進められます。効果的な運用により技術習得だけに限らず、専門職としての視点を高めたい時、また管理面の研修強化等に使用されます。

トレーニングの有用性

トレーニングを受ける看護師にとっての利益

- 仕事を最も効果的に行うための準備となります
- 自信をつけます
- モチベーションを高めます
- 働く気力を高めます
- 昇格につながります
- 業務中のストレスや疑心難儀なことを解消します
- 組織の中で成功をもたらします

部署にとっての利益

- 機動性・機動力・業務の円滑化を向上させます
- コストの削減をします
- 強いチーム力を生みます
- 業務上の危険性を削減します
- 良いイメージを創造します
- 良い人材を生み出し、引き寄せます
- 欠勤率や人手不足を解消します
- 離職率を下げます

患者様及びそのご家族等に対しての利益

- 良質の業務内容を提供できます
- 良質のサービスを提供できます
- 入院期間やお見舞いをより価値あるものにします
- お支払いになる費用が当然の費用と受け取ります
- 療養生活上の安全性を向上します

トレーニング評価表

観察のポイント	考えられる理由	解決方法
看護師がトレーニングを受けたにもかかわらず、何かの業務につまずき、業務施行上問題が起こる。	トレーニングにおいて十分に練習ができず、その業務にしばらく従事していなかった。	トレーニング中に反復訓練を集中的に行う。
看護師が業務に対しトレーニング及び実際の業務の両方で疑問や迷いが生じた。	トレーナーとのコミュニケーションやトレーナーのサポートがうまく行われていなかったか、トレーニングの内容が明確に看護師に伝わっていなかった。	業務のポイントをわかりやすくする方法を考える。単純にポイントを説明する。トレーニングのステップを増やし細分化する。
看護師がトレーニングに無い業務内容に遭遇した。	トレーニングが行われていない。	もし、これが多くの看護師から発生したら、そのトレーニング・プログラムを作成する。そうでなければ個人トレーニングで解消する。
トレーニングが行われたにもかかわらず、同じミスを繰り返し行う。	トレーニング中に指導が充分でなかったか、その人の意見が取り入れられていなかった。	その看護師の統括的な意見を聴取し、個人トレーニングでそのミスを解消する。
看護師がトレーニングを受けたにもかかわらず、指導された手順で業務を遂行できない。	看護師が手順の順番や重要性の根拠を理解していない。	看護師がどの順番で手順を思考するか、そしてなぜのように施行することが重要なのかを伝える。
看護師がしっかりした手順で仕事をしようがしまいが気にしない。	トレーニングがその看護師の業務に対するモチベーションを上げる効果を持たなかった。	トレーニング中にその看護師に「あなたはチームの一員なのだ」と言うことを認識するように励まし、その看護師の仕事内容がどのように他の従事者に影響を与えるかを説明する。

看護技術チェックリスト(病棟看護師)

氏名: _____ 病棟名: _____ 病棟

担当者①氏名: _____ 担当者②氏名: _____

下記の「入職時」欄に各項目の自己評価(A～D)を記載して下さい。

A:1人で出来る/B:実施したことはあるが不安/C:見学のみ/D:未経験

業務項目(基礎編)	入職時	1ヶ月	確認	3ヶ月	確認	備考
バイタルサイン測定・SpO ₂ 測定						
採血						
静脈注射						
皮下注射						
筋肉注射						
点滴注射セッティング						
翼状針の挿入						
サーフロ針の挿入						
吸引器操作						
吸引						
酸素吸入						
ネブライザー						
経管栄養						
経管栄養チューブ挿入介助						
導尿(女性)						
バルンカテーテル挿入介助(男性)						
バルンカテーテル挿入(女性)						
血糖測定						
浣腸(グリセリン)						
与薬(点眼・点鼻・点耳を含む)						
座薬挿入						
摘便						
駆風浣腸(ガスぬき)						
メント湿布						
湯たんぽ						

氷枕						
滅菌操作						
傷処置・消毒介助(縫合 etc)						
医療廃棄物処理						
尿量測定						
口腔清拭						
食事介助						
機械浴入浴介助・全身清拭						
排泄介助						
トランス						
車椅子・ストレッチャーの操作						
パーソナルシート記入業務						
看護記録(SOAP)						
看護計画の作成						
入院時オリエンテーション						

業務項目(応用編)	入職時	1ヶ月	確認	3ヶ月	確認	備考
輸血時のセッティングと介助						
気管切開の介助						
輸液ポンプの取扱い						
気管切開部からの吸引						
気管切開カニューレ交換時の介助						
気管挿管時の介助						
胃瘻造設手術前後の処置						
胃瘻造設手術時の介助						
胃瘻チューブ交換時の介助						
ストマ管理						
内視鏡検査時の介助						
ブロック注射の介助						
褥瘡(皮膚潰瘍)処置						
アンビューバッグの取扱い						
HRモニターの取扱い						
IVH挿入の介助						
急変時の蘇生処置介助						
死後処置						
職員検診						

入職時看護師基礎研修プログラム(日勤用)

入職者氏名: _____ 病棟名: _____ 病棟

担当者①氏名: _____ 担当者②氏名: _____

下記の各説明項目の□の中に✓を入れ、最後に入職者と研修担当者の署名と実施した日にちを明記して下さい。

業務項目	研修内容
<処置> 1. 包交車 <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照し確認を一緒に行います。
2. 処置 <input type="checkbox"/>	処置表に沿っての処置・清潔操作・胃瘻部処置等と一緒に 行い介助してもらいます。
<注射> 1. 注射箋の取扱い <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照し説明します。
2. 点滴(1~2人に施行) <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照します。 ① 点滴ルートを清潔にセットします。 1回見学しその後実践します。 ② アンプルカット・ミキシングを清潔に行います。 1回見学しその後実践します。 ③ 翼状針の挿入・固定 1回見学しその後容易な血管を探し実践します。 ④ 抜針 1回見学しその後実践します。 問題がなければ次回より見守りなしで報告のみ受けます。
<各手技> 1. ネブライザー <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照します。 1人で実践してもらい見守ります。 問題がなければ次回より見守りなしで報告のみ受けます。
2. 吸引 <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照します。 1人で実践してもらい見守ります。
3. 経管栄養 <input type="checkbox"/>	マニュアルを参照します。 一緒に行いながら、同時に見守ります。

<p>4. 坐薬・浣腸・摘便 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 1人で実践してもらい見守ります。</p>
<p>〈観察〉</p>	
<p>1. バイタルサインチェック <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアル参照にて目的・手技を確認後1人の患者様に実施してもらいます。 ① バイタルサインに明らかな変化があった場合のみダブルチェックします。</p>
<p>2. 全身の観察 <input type="checkbox"/></p>	<p>② パーソナルシートへの記載を一緒に行います。 ③ 観察能力を見守り、不足な観察ポイントを指導します。 (疾患との関連) ④ 看護記録用紙に経過記録を一緒に行います。</p>
<p>〈環境整備〉</p>	
<p>1. 病室内の整理整頓 <input type="checkbox"/></p>	<p>① 床頭台の整理(ティッシュ・ウェットティッシュ・吸引ボトル・ビニール手袋・コップ・吸引カテーテル) ② ベッドサイド・ベッド上の整理 ③ 臭気対策(スプレー・メンタ)</p>
<p>2. 環境調整 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 日除け・カーテン・霧吹き・換気</p>
<p>〈清潔の援助〉</p>	
<p>1. 口腔ケア <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 物品を揃え、歯がある場合、無い場合、開口困難な場合等、患者様に合うケア方法を説明しながら一緒に行います。</p>
<p>3. おむつ交換・更衣 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 一緒に行いながら、同時に見守ります。</p>
<p>〈食事の援助〉</p>	
<p>1. 配膳・下膳 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 見学してもらいます。</p>
<p>2. 食事介助 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 患者様の摂取状況・嚥下状況の観察を行ってもらいます。</p>
<p>3. 食事箋の取扱い <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照し説明します。</p>
<p>4. 嚥下訓練 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 アイス綿棒を使用しての訓練を見学します。</p>
<p>〈排泄の世話〉</p>	
<p>1. トイレ及びポータブルトイレの介助 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 1回見学しその後実践します。</p>

<p>2. 導尿 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。</p>
<p>3. 留置カテーテル <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 患者様が女性の場合は実施してもらいます。男性の場合は医師の介助を行います。 ① ウロパックの位置 ② 清潔操作 ③ ミルキング</p>
<p>4. 尿量測定 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 ① 16:00に尿量を測定 ② リーダーに報告 ③ 尿の性状を観察</p>
<p><リハビリ誘導></p>	
<p>1. リハビリ誘導 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 一緒に行いながら、同時に見守ります。</p>
<p>2. 離床の援助 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 一緒に行いながら、同時に見守ります。 長期臥床患者様は急に離床せず、ベッドアップから徐々にしていくことを説明します。</p>
<p>3. 車椅子の操作 <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 一緒に行いながら、同時に見守ります。</p>
<p><その他></p>	
<p>レクリエーション <input type="checkbox"/></p>	<p>マニュアルを参照します。 レクリエーションに参加してもらいます。</p>

私は上記の全ての項目についての説明や行動を完結いたしました。

入職者氏名: _____ 日付: _____

研修担当者氏名: _____ 日付: _____

看護師アドバンス研修プログラム

研修者氏名: _____ 病棟名: _____ 病棟

担当者①氏名: _____ 担当者②氏名: _____

下記の各説明項目の□の中に✓を入れ、各説明項目終了の日にちを明記してください。

項 目	内容及び留意点
<p><看護技術到達目標></p> <p>■ 感染防止の技術 □ _____</p>	<p>① スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施 ② 必要な防護用具(手袋、マスク、ガウン等)の選択 ③ 無菌操作の実施 ④ 医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い ⑤ 針刺事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応 ⑥ 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択</p>
<p>■ 安全確保の技術 □ _____</p>	<p>① 誤薬防止の手順に沿った与薬 ② 患者誤認防止策の実施 ③ 転倒転落防止策の実施 ④ 薬剤副作用・放射線被爆防止策の実施</p>
<p>■ 排泄援助の技術 □ _____</p>	<p>① 自然排尿・排便援助(尿器・便器介助、可能な限りおむつを用いない援助を含む。) ② 浣腸 ③ 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理 ④ 摘便 ⑤ 導尿 ⑥ 座薬</p>
<p>■ 活動・休息援助技術 □ _____</p>	<p>① 歩行介助・移動の介助・移送 ② 体位変換(例1①及び②について、手術後、麻痺等で生活に制限のある患者様等への実施) ③ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防 ④ 入眠・睡眠の援助 ⑤ 体動、移動に注意が必要な患者への援助(例:不穩、不動、情緒不安定、意識レベル低下、鎮静中)</p>

<p>■ 環境調整技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整(例:臥床患者様、手術後の患者様等の療養生活環境調整)</p> <p>② ベッドメイキング(例:臥床患者様のベッドメイキング)</p>
<p>■ 呼吸循環を整える技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 酸素吸入療法</p> <p>② 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)</p> <p>③ ネブライザーの実施</p> <p>④ 体温調整</p> <p>⑤ 排痰ケア</p>
<p>■ 食事援助技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 食生活支援</p> <p>② 食事介助(例:臥床患者、嚥下障害のある患者の食事介助)</p> <p>③ 経管栄養法・胃瘻栄養法</p>
<p>■ 与薬の技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬</p> <p>② 皮下注射、筋肉内注射、皮内注射</p> <p>③ 中心静脈内注射の準備・介助・管理</p> <p>④ 静脈内注射、点滴静脈内注射</p> <p>⑤ 輸液ポンプの準備と管理</p> <p>⑥ 輸血の準備、介助、輸血中と輸血後の観察</p> <p>⑦ 抗生物質の用法と副作用の観察</p> <p>⑧ インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察</p> <p>⑨ 麻薬の主作用・副作用の観察</p> <p>⑩ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)</p>
<p>■ 救命・救急処置技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 意識レベルの把握</p> <p>② 気道確保</p> <p>③ 心臓マッサージ</p> <p>④ 気管挿管の準備と介助</p> <p>⑤ 止血</p> <p>⑥ チームメンバーへの応援要請</p>
<p>■ 清潔・衣生活援助技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 清拭</p> <p>② 洗髪</p> <p>③ 口腔ケア</p> <p>④ 入浴介助</p> <p>⑤ 部分浴・陰部ケア・おむつ交換</p> <p>⑥ 寝衣交換等の衣生活支援、整容(例:①から⑥について、全介助を要する患者様、ドレーン挿入、点滴を行っている患者様等への実施)</p>

<p>■ 苦痛の緩和・安楽確保の技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 安楽な体位の保持</p> <p>② 褥法等身体安定促進ケア</p> <p>③ リラクゼーション</p> <p>④ 精神的安定を保つための看護ケア</p>
<p>■ 症状・生体機能管理技術</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈</p> <p>② 身体計測</p> <p>③ 静脈採血と検体の取扱い</p> <p>④ 動脈血採血の準備と検体の取扱い</p> <p>⑤ 採尿・尿検査の方法と検体の取扱い</p> <p>⑥ 血糖値測定</p> <p>⑦ 心電図モニター</p> <p>⑧ サチュレーションによる測定</p>
<p><看護管理目標></p>	
<p>■ 組織人としての行動</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 病院理念・目標、看護部理念・目標を把握しそれに沿った行動が出来る</p> <p>② 職場内のスタッフとコミュニケーションが良く出来ていて、業務上の情報が共有でき、個人情報保護の観点からの情報管理も出来る</p> <p>③ リーダーシップを発揮し職場内のスタッフを統率・管理出来る能力がある</p>
<p>■ 安全管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 施設における医療安全管理体制についての把握が出来る</p> <p>② インシデント(ヒヤリ・ハット)事例やアクシデント事例の報告を速やかに行える</p>
<p>■ 情報管理(記録)</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 病院内の医療情報に関する規定を理解している</p> <p>② 患者様等に対し、適切な情報提供を行える</p> <p>③ プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱える</p> <p>④ 看護記録の目的を理解し、正確に作成出来る</p> <p>⑤ 診療計画に基づいた看護計画の作成が出来る</p> <p>⑥ 記録業務を他のスタッフに教えることが出来る</p>
<p>■ 業務管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 業務の基準・手順に沿って実地する</p> <p>② 複数の患者様の看護・介護の優先度を考えて行動する</p> <p>③ 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う</p> <p>④ 決められた業務を時間内に実施できるように調整する</p>
<p>■ 薬剤等の管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)</p> <p>② 血液製剤適切に請求・受領・保管に関する把握</p>

<p>■ 災害・防災管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する</p> <p>② 病院内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者様やご家族に説明を行う</p>
<p>■ 物品管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う</p> <p>② 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う</p>
<p>■ コスト管理</p> <p><input type="checkbox"/> _____</p>	<p>① 患者様の負担を考慮し、物品を適切に使用する</p> <p>② 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する</p>

私は上記の全ての項目についての研修内容を完結いたしました。

研修者氏名: _____ 日付: _____

管理者氏名: _____ 日付: _____

看護師研修報告書

研修者氏名：_____ 病棟名：_____ 病棟

研修担当者①氏名：_____ 研修担当者②氏名：_____

研修項目	
達成目標及び留意点

時 間	研修内容	わからない点・不安な点・感想
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

研修担当者からの評価	評価者氏名：
.....	
.....	
.....	
.....	

年 月 日

トレーニングの評価・質問表

研修者氏名： _____ 病棟 _____

トレーニング・テーマ _____

1. トレーニングは役に立ちましたか？

はい いいえ どちらとも言えない

どちらとも言えない場合、その理由を簡単に記載してください。

2. どの知識や手順が最も役に立ちましたか？

3. トレーニング後に一人でもこの業務はできると言う気持ちになりましたか？

はい いいえ どちらとも言えない

どちらとも言えない場合、その理由を簡単に記載してください。

4. このトレーニング後に、まだこの部分のサポートが必要だと思う点がありますか？

はい いいえ

必要だと思う点がある場合、どの部分か簡単に記載してください。

5. 現在のあなたの業務の中で、トレーニングを行って欲しい業務はありますか？

はい いいえ

トレーニングを行って欲しい業務がある場合、どの業務か簡単に記載してください。
